

生涯学習館

30日(金)は館内整理日のため
休館です。

開館時間 平日 10:00～19:00
土・日 9:00～17:00

生涯学習館では、子育て中の ママ・パパを応援しています!



生涯学習館児童創作ルームにて子育てに奮闘するママ・パパのために子育て応援コーナーを設置いたしました。育児の悩み、しつけ、食育などさまざまな情報の提供しています。今後も充実した資料を提供していきます。ぜひ、ご利用ください。

また、図書館利用のママ・パパのための託児サービス「ママピヨタイム」を実施しています。(休館日は除く)

毎週木曜日 ①10:30～11:00 (30分間)
②11:30～12:00 (30分間)

※どちらかの時間帯、1日1回のご利用をお願いします。

ご利用にあたり、「ママピヨタイム利用規約」を必ずご確認くださいからお申込みを受け付けております。詳しくは、生涯学習館窓口もしくは生涯学習館ホームページをご覧ください。



☆図書館友の会から☆

つちもと市の開催中

♪廃棄雑誌等、売います♪

生涯学習館で古くなって廃棄となった雑誌を必要な方にお売りいたします。生涯学習館の入り口前で、一冊50円で販売します。数に限りがありますので気になった雑誌があればぜひお手に取ってみてください。

尚、これらの売り上げは図書館友の会から生涯学習館へ資料費として寄付されます。

子育て応援コーナー 新着資料のご案内



◎うきうきごきげんシアター/ケロボンズ 新沢としひこ著 ◎スポーツで心を強くする子育て/本田大三郎著 ◎和田秀樹式子どもが正しく育つ親の教科書/和田秀樹著 ◎放射能からママと子どもを守る本/野口邦和著 ◎ママ!しんぱいらないよ。/池川明著 ◎最強母乳外来/SOLANIN著 ほか

1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第57回読書会

日時:9月24日(土) 午後2時～

場所:生涯学習館 学習室1

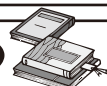
課題:「深い河」

遠藤 周作/著



新規参加者大募集!!

♪新着書案内♪



◎誕生日だけであなたの未来が9割わかる/佐奈由紀子著 ◎再起/宮嶋茂樹著 ◎池上彰の就職読本/池上彰著 ◎もしベクレルさんが放射能を発見していなければ。/大宮理著 ◎サッカーボーイズ15歳/はらだみずき著 ◎保湿とUVケアだけが美肌を作る/北條元治著 ◎ワンプレートごはん/中村美穂著 ◎風水ガラクタ整理法/メアリー・ランバート著 ◎シンプル暮らしのお片づけ/柳沢小実著 ◎余震/ロバート・B. ライシュ著 ◎甘ゼリー・塩ゼリー/渡辺麻紀著 ◎世界で一番美しい人体図鑑/奈良信雄著 ◎ポニーテール/重松清著 ほか

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象 (午前10時30分～)

ブラウンベア (えいご) 9月13日(火)

うさぎのおやこ 9月27日(火)

●幼児～小学生低学年対象
(午後1時30分～)

パパのえほんタイム 9月10日(土)

イトワールの会 9月24日(土)

9月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	20日 (河口 4時15分～ 大石 4時45分～)
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	15日 (午後3時30分～)



問い合わせ/生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-Mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

〈地域社会活動と地域ボランティア活動〉 ～広げようネットワークの輪～

富士河口湖町女性交流センター
みずうみ通信



蘇ったおもちゃで
子どもたちに喜びを

おもちゃ病院ボランティア

船津 米山 昭三

私たちのグループは、平成十四年三月、渡辺リーダー、鈴木代表、武井氏と私の四名によって結成され、富士河口湖町の高齢者世帯障害者家庭を対象として、「家電製品、及び屋内電器」の修理を目的とするボランティアグループを発足させました。

まずは、町の社会福祉協議会に登録して、さっそく活動を始めました。以来、この件については、二五〇件余りの修理実績があり、各家庭から喜んでいただきました。

やがて、平成二十年の冬、

「上野原コモアしおつ」でおもちゃドクターとして活躍されておられる、木本氏を知り、この方から先輩として指導を受け、細やかなご指導と、アドバイスをいただき、おも



ちゃ修理も始めることになりました。

平成二十年

十月、生協グループやまなし主催の子育て広場「ばるるん2009」

のイベントが、富士山アリーナにて開催され、その場所におもちゃ修理のブースが設けられ、私たちも応援依頼を受け、参加しました。

会場には、大勢の若いおかあさん方と、子ども達がたくさんこのわかれた玩具を持って、集まってきました。

私たちは張り切って修理をしました。みつめる子どもや父母も真剣でした。

そして、見事に再生された玩具に喜ぶ親子の笑顔に、私共メンバーも元気を貰い、疲れもふつとびました。嬉しい瞬間でした。

そのときの体験ですが、「河口湖町にも、このように修理してくれる場所があればいいなあ。」とふともらした若いおかあさんの言葉が私共の心にとまりました。

そうだ。わが町でも『おもちゃ病院』を創ろう！私達は早速立ち上がりました。

平成二十二年十一月『おもちゃ病院』として、グループの届けを社会福祉協議会に提出して、本格的『おもちゃ修理ボランティア』がスタートしました。楽しいおもちゃが次々と生き返り、本年三月までの累計は九十件以



上。九十%以上の完全修理をしてきました。

平成二十二年の秋 健康科学大学の「蒼麗祭」の社協ボランティアの一員として、共同募金やさまざまな催しに参加させて貰い、貴重な体験をしました。その時の交流が縁となり、なお、社協と生涯学習課の理解ある支援で現在は、生涯学習館の創作ルームで毎月二回（第二と第四）の金曜日、午後一時から四時まで『おもちゃ病院』を開院しています。

町役場、社協の皆さんのご助力に感謝して今後もがんばりたいと思います。

私達シニアのメンバーは今七人となりました。お互いに健康に気をつけて明るく、朗らかに次世代を担う子どもたちに、心優しく、物を大切にする心をはぐくんでいけたら幸せです。そして、つねに地域に奉仕できる喜びを感じています。

平和への祈りをこめて 戦争を語り継ぐ

八月十四日の山日新聞の片隅に、このような記事が載っていました。

「八月十五日は、戦没者を追悼し、平和を祈念する日です。国民の皆さま、それぞれの場所にて、正午から一分間の黙とうをお願いいたします。」 厚生労働省

いまや、この記事に感銘し、忌まわしい66年前へ思いを馳せる方々が総人口の何割いらっしゃるでしょうか。勿論激減しておりますね。

しかし、生命ある限り戦争を語り継ぎ、若き世代へ平和の尊さを呼び続けていくべきです。

センターみずうみでは今後も「戦争体験」の語りべを求め、集録してまいります。

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



今年度のアースウォッチ・プロジェクト 無事終了しました

今年度で9年目となったのアースウォッチ・プロジェクト「富士山周辺の絶滅危惧チョウ類」の第3回が7月22～24日に、第4回(日立プロジェクト)が8月19～21日に開催されました。

7月は一般会員4名と花王(株)から社員4名計8名が、8月は日立グループだけで募集していただいた15名の希望者から選抜頂いた10名と事務局員1名計11名が参加下さいました。ほとんどは東京・埼玉の近県の方々でしたが、遠くは島根県や大阪・京都府、愛知県などからも来て下さいました。

7月は3日間とも富士山が見える快晴に恵まれ、8月は前線の影響で1日目の朝にちょっと富士山が見えただけの小雨模様の天候でしたが、1日以外は予定通りに調査を行うことが出来ました。主な調査地である本栖高原と野尻草原では、ヒョウモンチョウ・ウラギンスジヒョウモン・ヤマキチョウ・ヒメシジミ・ホシチャバネセセリの絶滅危惧チョウ類を確認でき、最近では周辺地域でほとんど見られ



なくなったこれらの絶滅危惧種

が、この2ヶ所の草原地帯では健在であることがわかりました。また、絶滅危惧種ミヤマシジミの富士山北麓で唯一の生息地である梨ヶ原でも、2006年以降減少傾向でしたが今年は5年前の2006年に近い個体が確認され、7月には約320頭の幼虫が、8月には約140頭の成虫が見られました。梨ヶ原では、ゴマシジミやベニモンマダラといった絶滅危惧種も確認され、2回のプロジェクトで計8種の絶滅危惧チョウ・ガ類を観察出来ました。

富士山の里山環境でも、絶滅危惧のチョウ類・鳥類・植物のほとんどがこれら富士北麓3草原に残るだけという状況になり、改めてこれら富士北麓3草原の大切さを痛感すると同時に、これらをどのように保全して行ったら良いかを再考する機会となりました。

河口湖フィールドセンター周辺の自然～胎内神社のコウモリ～

9月30日まで開催している今年度の富士山写真展「剣丸尾溶岩流上の自然(河口湖フィールドセンター周辺の自然)」で紹介したり、広報でも何度かお知らせしていますが、船津胎内樹型にはウサギコウモリとキクガシラコウモリの2種のコウモリが住み着いて、時々、胎内神社(無戸室浅間神社)の天井で休んでいます。8月に入ってからは見かける回数が多くなり、16日にはウサギコウモリ2頭が、そして18日にはウサギコウモリ2頭とキクガシラコウモリ1頭の計3頭が見られました。

4月30日に中川雄三さんに足輪を付けてもらったウサギコウモリの雄は、5月3・14日に見られただけで以降全く確認されませんでしたので、5月中旬以降は別の洞穴に移動した可能性が高いと考えています。6月12日には授乳期のウサギコウモリ雌が確認され繁殖したのではとお伝えしましたが、今回の2頭はその雌と子供の可能性が高いのではないかと考えています。8月には自動撮影カメラを設置しましたが、ネズミは撮影出来るがコウモリには反応しないことがわかりましたので、1～5分おきのインターバル撮影を3夜行い、別々の日に1回ずつ(20:04と21:36)1頭のコウモリが飛んでいるところが撮影されました。今後も、船津胎内樹型に生息する2種3頭の貴重なコウモリ類の生態を探り報告して行きます。ご期待下さい。



ショート・ニュース

- 第14回ホタル・オオムラサキ賞の作品を募集しています。各学校から夏休み前に通知して頂いていますが、昨年同様、ポスター・作文・自由研究・写真の部門で9月30日締切です。ふるってご応募下さい。
- 7月末に北海道大学で開催された日本鱗翅学会大会で、「絶滅危惧アサマシジミの局所個体群構造について」と題して、2009年から富士河口湖町河口の御坂山麓里山環境で調査を継続しているアサマシジミの調査結果を報告しました。
- 絶滅危惧チョウ類の保全のために広島大学と共同で実施しているミヤマシジミの幼虫と共生アリ類の体表物質の研究のために、9月3～6日に大村尚先生が来麓され共同で野外実験を行う予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555-72-4331 (FAX 72-4341) 河口湖フィールドセンターまで

精神障害者地域移行支援特別対策事業とは

我が国では、長い間、精神の病気を持つ人に対し、入院中心の治療をしてきました。その結果、長期に渡る入院患者が増え、中でも、病気は良くなったのに様々な理由で退院できないという「社会的入院」患者が、全国で約72000人いることが明らかになってきました。このような背景を受け、国は、病状が良くなれば退院するということに、「入院医療中心から地域生活中心へ」とのスローガンを打ち立てました。

精神の病気を患った方が退院する場合、多くは障害（生活のしづらさ）があるため、本人が生活しやすい環境を作る支援が必要になってきます。

社会的入院患者の退院支援について、これまでの病院中心の支援だけでなく、行政や地域の関係機関など多くの人が積極的に支援に関わっていくこと・・・

それが「**地域移行支援特別対策事業**」です。

山梨県では、平成17年度から事業として取り組みが始まり、現在は保健所がある、5つの圏域ごとに実施されています。県内11箇所の精神科病院に約300人の社会的入院患者がいると言われています。

その方々のうち、退院支援を希望する方に「地域移行推進員」を派遣して支援しています。患者の希望に添った支援を行うため、その内容は

様々ですが、退院後の生活に関わること（面接、買い物、料理など）、退院後に利用できる施設や住居の見学、福祉制度やサービス利用の手続き等の同行などを行っています。

このように事業を進めて中では、次のような課題も出てきています。

- 住居の確保（退院先が見つからない）○保証人（保証人がいなくて家を借りれない）
- 地域の理解 ○経済的保証（働く場が少ない）等

このような課題を解決していくためにも、各保健所に「地域体制整備コーディネーター」が配置され、また、圏域ごとに「自立促進支援協議会」という会議の場を設置して、病院や市町村等と協力しながら、上記課題などの様々な問題について話しあっています。

この事業を利用するには、主治医の推薦書が必要になります。入院先の主治医がケースワーカーに相談しましょう。その後、自立促進支援協議会において対象者としての決定がなされます。



対象者として決定されると、まずは地域移行推進員が入院先を訪問し、退院後に希望する暮らしをお聞きします。そしてその希望に沿って病院や市町村等と退院までの計画を立て、退院への準備を進めていきます。地域で暮らし準備が整い、退院した後も暮らしをサポートしていきます。

地域づくりをすすめていくには、多くの理解者・協力者が必要です。1人でも多くの方に、この現状を知って頂きながら、精神障害を持つ人も安心して暮らせるような地域社会を目指しています。

問い合わせ先

富士・東部保健福祉事務所 地域保健課

TEL 0555-24-9035

富士・東部圏域精神障害者自立促進支援協議会事務局

都留市地域活動支援センターむつみの家

TEL 0554-45-6887



tel 0555-73-2829

! 美術館にお越しの際は「町民優待カード」を持参してください

ART MUSEUM NEWS

河口湖美術館に「あーす」

9月

北麓 アート ファイル 2011

H O K U R O K U A R T F I L E 2 0 1 1

file 5 降矢組人

1930 山梨県北都留郡西原村(現上野原市)に生まれる
 1956 東京芸術大学美術学部油絵科林武教室卒業
 ~71 東横美術研究所創設に参加、後に所長になる。
 ~74 迎賓館赤坂離宮壁画天井画修復作業に現場責任者として従事
 ~76 東京芸術大学受託研究、高松塚古墳壁画再現研究員
 1998 紺綬褒章受章
 2001 毎日新聞社「21世紀山梨の100人」に選出される
 2000 日中友好交流展(パリ、ニューヨーク)
 ~07 イタリア、ソウル、プロヴァンス、サンクトペテルブルグ等国際展に出品

2008 カラヤン生誕100年記念ザルツブルグ・イースター音楽祭
 ジャパン・アート・フェスティバルで作品5点が展覧される
 2009 イースター音楽祭(オペラ)ザルツブルグ祝祭大劇場
 ホールに作品が展覧される
 東京・春・音楽祭(上野の森)ー東京オペラの森東京文
 化会館小ホールロビーに作品が展覧される

コレクション

山梨県立美術館 河口湖美術館 フジヤマミュージアム 韮崎
 大村美術館 上野原美術館 プラハ国立美術館 山梨県立中
 央病院 山梨県環境科学研究所 北里研究所病院 山梨県立
 八ヶ岳自然ふれあいセンター 山梨県立桐原青少年自然の里
 上野原市庁舎 他



《白百合の花と木鉢の青梅》
 1999年 油彩・画布

file 6 細川秀年・細川寛文

秀年

1935 香川県に生まれる 兵庫県丹波立杭(たちくい)試験場技師を経て清水六兵衛に師事
 1964 河口湖町に富士五湖窯を創立
 1969 コロラドスプリングス市美術館(アメリカ)に富士吉田市より作品「春緑」が献上された
 1970 下田御用邸に下田町より作品「曙富士」が献上された
 1972 富士吉田市に富士山秀年窯を創立
 1975 3月細川秀年作陶展(主催=毎日サービス 後援=毎日新聞社/スポーツニッポン新聞社)
 11月細川秀年作陶展(後援=静岡新聞社/SBS静岡放送)
 1980 富士吉田市文化功労賞
 1988,1992,1995 個展(東京セントラル美術館)
 1996 個展(後援=香川県豊中町教育委員会)
 1996,1999,2003 個展(山梨県地場産業センター 後援=山梨日日新聞社/山梨放送)

京都府総研陶磁器部委員(元) 京都工芸作家協会会員 京都陶芸作家クラブ会員



《春緑》 2010年

寛文

1962 京都に生まれる
 1982 京都芸術短期大学卒業
 小川欣二、林秀行に師事
 1984 京都府陶工訓練校卒業
 1985 光風会展入選
 1989 日本新工芸展入選
 1991 山梨造形美術展奨励賞受賞
 1992 茶道裏千家淡交会青匠展
 1999 山梨造形美術展会員賞
 2005 光風会展友賞
 2010,2011 光耀展(日本橋三越)
 光風会会員



《樹海》

file 7 河内成幸

1948 山梨県上野原町(現上野原市)に生まれる
 1969 多摩美術大学油画科入学
 第37回日本版画協会展に初出品し入選
 1976 第44回日本版画協会展で最優秀賞受賞
 日本版画協会会員となる
 1985 文化庁在外研修派遣(〜86 コロンビア大学大
 学院 ワシントン)
 1987 「河内成幸全版画」刊行(阿部出版)
 1989 第18回リュブリアナ国際版画ビエンナーレでク
 ラーゲンフルト賞受賞(ユーゴスラビア)
 1997 河内成幸作品集刊行(求龍堂)
 2002 日本版画協会常務理事
 2009 個展(南アルプス市立美術館 山梨)
 2011 紫綬褒章受章 多摩美術大学客員教授



《黄金の国(二)》
 2000年 木版・紙

9.10 [土] ▶ 10.23 [日]

■主催=河口湖美術館 ■休館日=火曜日
 ■開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで)

同時開催

所蔵品展

富士山の絵画・版画・写真

パブリックコレクション

大阪府立現代美術センター 神奈川県立近代美術館 国立国際美術館 埼玉県立近代美術
 館 東京国立近代美術館 東京都美術館 栃木県立美術館 富山県立近代美術館 新潟
 県立美術館 兵庫県立近代美術館 山梨県立美術館 和歌山県立近代美術館 クリー
 ヴラント美術館(オハイオ州 アメリカ) 大英博物館 台湾台北市立美術館 国立プーシ
 キン美術館(ロシア) 国立モスクワ東洋美術館(ロシア) スコピエ現代美術館(マケドニ
 ア共和国) アートギャラリーオブニューサウスウェールズ(オーストラリア) ノルウェー国
 立美術館 ブラッドフォード美術館(イギリス) ブルガリア国立美術館 ポートランド美術
 館(オレゴン州 アメリカ) ワシントンDC国会図書館



県民の日富士吉田会場出演者・出店大募集

10月22日(土)、富士北麓公園陸上競技場前広場で行われる「県民の日」の「ふれあい広場」への出演、フリーマーケットに出店しませんか?

ふれあい広場ステージ出演者の募集

■参加資格 県内に在住する団体、グループ。プロ、アマ不問。高校生以下は保護者の承諾が必要

■発表内容 内容不問。但し、カラオケや公序良俗に反するもの、運営上支障となる場合以外※応募多数の場合、抽選により主演者を決定

フリーマーケット出店者募集

■募集内容 区画数25 ■出店料 500円 抽選により出店者を決定します。

募集締切

9月15日(木) 県民の日富士吉田会場運営委託先(株)アドブレン社 企画制作局

TEL 055・231・3311

(土・日は除く)

問合せ先

山梨県 県民生活男女参画課 県民生活安全担当

TEL 055・223・1350

富士北麓高等学校

公開授業及び平成24年度前期募集

入学者選抜説明会

■日時 10月12日(水)

■対象 中学校教員・保護者及び一般の方

■日程

公開授業 午後2時30分～3時20分(各教室) 説明会 午後3時30分(視聴覚室)

・前期募集入学者選抜募集要項の配布・説明
・前年度の面接・作文問題の解説

・質疑応答他

■その他 上履きをご持参下さい

■問合せ先 富士北麓高等学校 (TEL 224161)

富士河口湖町野球協会

町制祭第8回軟式野球大会

■日程 10月2日(日) 予備日10月9日

■場所 くぬぎ平運動場 小立

■参加対象 富士河口湖町内に在住もしくは勤務している方

※代表者会議までに、参加者の定住確認や勤務地の確認を行います。選手参加名簿に会社の認証等を添付してください。

※その他詳細は代表者会議で説明します

■参加料 1チーム5000円

※但し、町軟式協会費を支払っていない場合は、協会費として、別途5000円が必要

■申込期限 9月15日(木) 正午まで。

■申込・問合せ先 富士河口湖町野球協会事務局 TEL 090・2338・4075

「山梨二胡の会」富士北麓合同発表会

■日時 9月11日(日) 午後1時開演

■会場 富士吉田市「ふじさんホール」(富士五湖文化会館大ホール)

■演目等 中国楽器「二胡」による合奏 中国の名曲、日本のポピュラー曲等

■入場料 無料

■問合せ先 TEL 23・9071(前田) TEL 76・8287(斎藤)

(TEL 090・5439・9952)

富士河口湖町体育協会スキー部

親子グラススキー教室

■日時

9月19日(月)、9月23日(金)、10月1日(土)、

10月2日(日)、10月22日(土)

各日程とも 午前10時～正午

■場所 サンパーク都留グラススキー場

TEL 0554・451388

■費用 大人 1570円、

高校生以下 1040円

(1回分のリフト・レンタル代)

■服装等 長袖、長ズボン、手袋(軍手可)、ヘルメット・プロテクター(レンタルあり)、飲み物、汗拭きタオル、虫除け、虫さされ薬、着替え

■その他

・傷害保険は各自で加入して下さい。
・レンタルブーツは21cm以上です。

・ヘルメット・プロテクター、ストックは無料レンタルです。

・昼食はレストランが利用できます。

■申込方法 各日程の1週間前までにFAX又はメールでお申し込みください。

■問合せ先 河口湖スキークラブ事務局 坂本栄樹 民宿八崎園

小立91211

TEL 090・4749・4007

FAX 0555・72・1736

Mail yagasakien@ric.hi-ho.ne.jp

「ウォーキング教室」参加者募集

肩こりや腰痛の解消・体力アップに効果が期待できますので、この機会に是非ご参加ください。

■日時 9月14日・9月28日(予定)

10月以降は未定 午後8時～9時

■場所 中央公民館ホール

■講師 牛田 茂先生

※その他資料代等、詳細につきましては説明いたしますので、まずはお気軽にお問合せ下さい。



フジ幼稚園
INFORMATION

2012年度の入園説明会を行います。バンビーノの森は“森のようちえん”と“モンテッソーリメソッド”の活動をしている幼児教育施設です。入園をご検討の方は是非ご参加ください。

Fujiこどもの家バンビーノの森 入園説明会

- 問合せ先 TEL 080・5539・2441 (佐藤)
- TEL 090・3471・8257 (宮下)
- 日時 10月5日(水) 雨天中止
午前8時30分～受付
- 場所 富士北麓公園陸上競技場
- 対象 50歳以上の男女 ■ 定員 96名
- 参加料 500円(1人)
- 申込方法 所定の申し込み用紙にボールペンで必要事項を記入し、郵送または窓口へ直接お申込みください。
- 申込期間 9月7日～9月21日
午前9時～午後5時(先着順)
- 問合せ先 富士北麓公園事務所
TEL 24・3651
- 富士ビクターセンター
「富士山教養講座」～富士山の信仰～
- 浅間神社を見学しながら、富士山の信仰について講師が解説します
- 日時 9月11日(日) 午後1時30分～3時30分
- 定員 20名(申込順・要予約)
- 参加費 無料(交通費は各自負担)
- 場所 北口本宮富士浅間神社(現地集合)
- 講師 陰山大和さん
- 申込・問合せ先 富士ビクターセンター
TEL 0555・72・0259

さい。

北麓シルバーグラウンドゴルフ大会

- 日時 9月11日(日) 午前10時から
9月12日(月) 午前10時から
- ※会場準備のため、参加される方は事前にご連絡下さい。
- 問合せ先 Fujiこどもの家バンビーノの森
富士河口湖町大石2954・1
TEL 0555・76・6882
E-mail info@bamfuj.jp
- 第1回富士山エコトレッキング
(富士山御中道) 参加者募集
- 富士山ボランティアセンターでは、「富士山にゴミを持ちこまない、捨てない、気づいたゴミは拾う」という趣旨のもと、富士山の自然・歴史に関する解説を聞きながら散策し清掃活動を行う「富士山エコトレッキング」を開催します。
- 日時 10月15日(土) 午前8時20分
- 定員 25名
- 参加費 100円(保険代、資料代)
- 場所 富士ビクターセンター
富士河口湖町船津6663・1
- 持ち物 防寒着、雨具、帽子、昼食、飲物など
- 装備 山道を歩ける服装、靴
- 募集期間 9月1日(木)～9月30日(金)
- 申込・問合せ先 富士ボランティアセンター
TEL 0555・72・4114

い。

第35回ヨハネ祭 「おいでよここに!みんなのヨハネ祭」

- 日時 9月25日(日) 雨天決行
午前10時～午後2時
- 場所 忍野村 富士聖ヨハネ学園
学園紹介、模擬店、社協ボランティアの出店、子供広場、その他催し物など

● 問合せ先 富士聖ヨハネ学園 TEL 23・5155

第19回地場産業まつり

- 日時 9月24日(土)、25日(日) 2日間
午前9時30分～午後4時
- 場所 郡内地域産業振興センター
- 内容 ○織物・宝飾品やお菓子・ワインなどの販売
○クラフトマーケット、飲食コーナー
○クラフト体験、こども広場、お楽しみ抽選会
○勝山スズ竹伝統工芸実演、太鼓の演奏など
- 問合せ先 郡内地域産業振興センター
TEL 0555・24・4406

やまなし特用林産フェア in 富士東部 富士東部特用林産まつり

- 日時 10月2日(日) 午前9時～午後3時
- 場所 富士北麓森林組合(グリーンエイト)
- 入場料 無料
- 内容 ○山梨県産のきのこ、わさび、緑化樹の販売
○しいたけ炭火焼き試食、野生きのこ展示
○きのこほろとう無料サービス
- 問合せ先 富士東部特用林産協会
TEL 85・2013
(鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産組合内)

富士吉田共同高等職業訓練校 板金教室

- 建築板金道具の手入れ方法を学び、作品を製作
- 日時 9月11日、18日 午前9時～午後5時
- 定員 10名 ■ 受講資格 一般男女
- 受講料 5000円 ■ 締切 9月7日